



【夏期開園期間】4/29(木・祝)～11/3(水・祝)【開園時間】午前9:30～午後5:15(最終入園は午後4:00まで)
 10/15(土)～11/3(水・祝)は午前9:30～午後4:30(最終入園は午後4:00) ※園内の安全かつ円滑な運営に支障をきたすおそれがあるときには、事前に告知することなく閉園する場合があります。

旭山動物園だより

発行所

旭川市旭山動物園
 動物図書館
 ☎0166-36-1104



6/13、アミメキリンのオスの子どもの愛称の命名式が行われ「あさひ」となりました。生まれたときより80cm以上大きくなっています。



エゾユキウサギの毛は土や木のような茶色の夏毛になりました。物陰に隠れていると、とても見つけづらい保護色です。

見た目はそっくりだけど、違うスズメ

ニューナイスズメ



スズメ



北海道では夏鳥 春～夏に見られる	生態	北海道では留鳥 一年中見られる
平地や林 ※人間が少ない場所で見られる	生息環境	市街地・農耕地 ※人間の生活圏で見られる
頭の上は赤茶色 目の下の耳羽部分は白い	特徴	頭の上は赤茶色 目の下の耳羽部分は黒い

ニューナイスズメもスズメも北海道産動物舎の「北海道の野鳥コーナー」で比べて観察することができるほか、野鳥として園内で見ることができます。鳴き声は似ていますが、違いはあります(文字にするのは難しいです)。ぜひ耳をすまして比べてみてくださいね。

チョウの例：キアゲバ



「チョウ」と「ガ」の違いは？



ガの例：クスサン

日中に活動	活動	夜間に活動
花の蜜、水	吸汁	花の蜜や樹液・果汁
黄色と黒の鮮やかな色彩	色	灰色がかった黄色で地味
触角の先が膨らんでいる 翅を閉じて休む 幼虫は毛が生えていない ※チョウの幼虫には毛が生えていないものが多い	特徴	触角が木の葉のような形 翅を開いて休む 幼虫には毛が生えている ※ガの幼虫には毛が生えているものが多い

「チョウ」も「ガ」も翅と体が鱗粉で覆われている「鱗翅目」の生きもの。キアゲバとクスサンを比べると上のような感じですが、「チョウ」の中には「ガ」のように翅を開いて休むものもいますし、「ガ」の中にも鮮やかな色彩をもったものがあります。毛が生えている「チョウ」の幼虫もいます。全ての「チョウ」と「ガ」にあてはまるわけではないので、じっくり観察して、図鑑などで調べてみましょう。

比べて楽しい生きもの

「旭山動物園だより」268号でも掲載した企画の今夏版です。生きものは生き方が違えば、見た目も体のつくりも違うんです。

イワトビペンギン(写真)、キングペンギンのヒナが生まれました。
 ※6/28撮影



3月に抜け落ちたエゾシカのオスのツノが立派になってきました。ツノを覆う皮がむけて秋に完成します。



やすらぎの森の横のノハナショウブも開花しました(7/4撮影)

暑さだけではない「夏が園内にたくさんあります」
 冬毛がすっかり抜け落ち、夏毛でほっそりした感じに見えるオオカミやエゾヒグマ。北方系の動物たちは、夏と冬では見た目でもわかるほどの変化があります。鳥類もわかりづらくなります。換羽があります。最近、いろんな昆虫が出てきています。昆虫をくわえている野鳥も見かけます。彼らは今、子育ての季節です。生き物によって「夏」の過ごし方が違うことが、今、すごく実感できますよ！

イベントのお知らせ

※「もぐもぐタイム」「なるほどガイド」「ふれあいの時間」は現在、平日のみの実施となっております。

動物画コンクールは大学生まで対象を拡大！

旭山動物園内の動物および風景をテーマにした作品を描く「動物画コンクール」。53回目の今年は、対象を大学生まで拡大して開催されます。開催概要や応募方法は、公式ホームページをご確認ください。

作品募集期間は8/1(日)～9/24(金)

初開催！動物墨画パフォーマンス甲子園

巨大な半紙の上に大きな筆を使って旭山動物園で飼育・展示されている動物を描くパフォーマンスを披露する SNS 配信イベントを8/8(日)に開催。旭川市内の高校生のみなさんが繰り広げるパフォーマンスをお楽しみに。



ライブ配信は8/8(日)13:00～